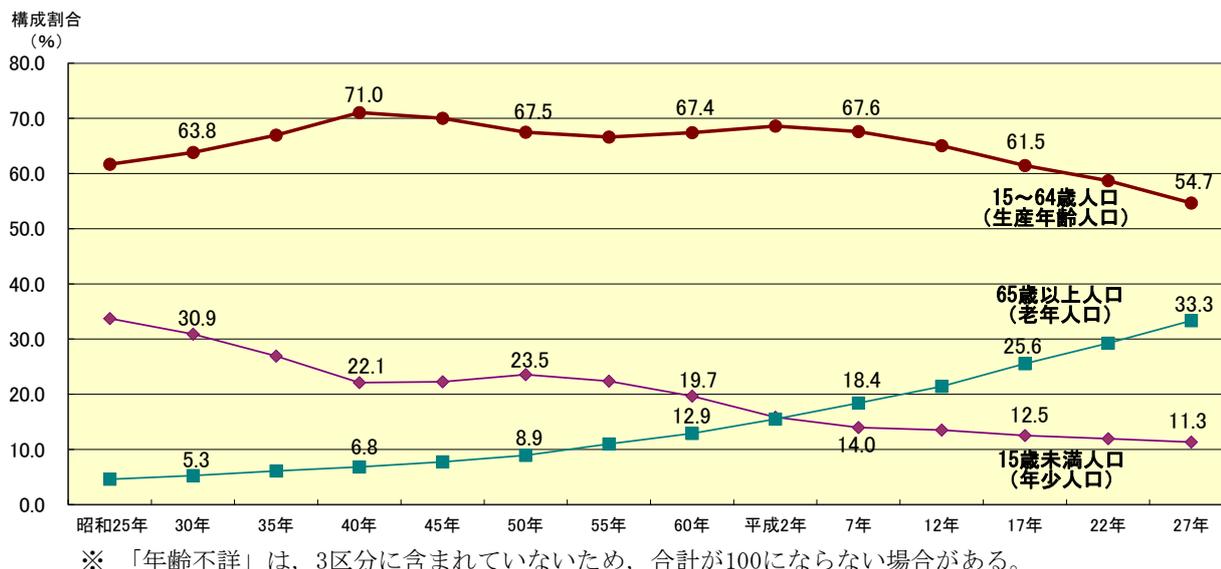


図4-1 年齢（3区分）別人口構成比の推移



地区別状況（表4-2, 4-3）

○ 15歳未満人口（年少人口）

郷原地区が17.7%と最も高く、次いで広地区が14.8%，昭和地区が13.8%などとなっています。一方、最も低いのは豊地区が4.1%，次いで蒲刈地区が4.5%，豊浜地区が4.9%などとなっています。これを平成22年と比べると、郷原地区の2.3ポイント減を最大として、中央地区以外のすべての地区で低下しており少子化が進行している状況です。

○ 15～64歳人口（生産年齢人口）

広地区が60.2%と最も高く、次いで中央地区が56.7%，郷原地区が54.6%などとなっています。一方、最も低いのは豊浜地区で28.1%，次いで豊地区が30.2%，蒲刈地区が38.7%などとなっています。これを平成22年と比べると、下蒲刈地区の7.6ポイント減を最大として、すべての地区で低下しています。

○ 65歳以上人口（老年人口）

豊浜地区が66.8%と最も高く、次いで豊地区が65.5%，蒲刈地区が56.7%などとなっています。一方、最も低いのは広地区で23.9%，次いで郷原地区が27.5%，昭和地区が32.2%などとなっています。これを平成22年と比べると、下蒲刈地区の9.4ポイント増を最大とし、すべての地区で上昇しており、全市的に高齢化が進行している状況です。

表4-2 年齢（3区分）別人口割合が高い地区及び低い地区

	15歳未満（年少人口）		15～64歳（生産年齢人口）		65歳以上（老年人口）	
割合が高い地区	郷原	17.7	広	60.2	豊浜	66.8
	広	14.8	中央	56.7	豊	65.5
	昭和	13.8	郷原	54.6	蒲刈	56.7
	吉浦	11.8	川尻	54.5	下蒲刈	48.9
	天応	11.5	吉浦	54.2	倉橋	48.9
割合が低い地区	豊	4.1	豊浜	28.1	広	23.9
	蒲刈	4.5	豊	30.2	郷原	27.5
	豊浜	4.9	蒲刈	38.7	昭和	32.2
	下蒲刈	5.6	倉橋	45.1	中央	32.9
	倉橋	5.9	下蒲刈	45.5	吉浦	33.6